



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 ユシロ化学工業株式会社

コード番号 5013 URL <http://www.yushiro.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大胡 栄一

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 宮澤 尚徳

TEL 03-3750-6793

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	7,230	△6.6	514	19.6	656	△12.1	434	△58.2
28年3月期第1四半期	7,739	7.5	430	36.1	746	36.2	1,039	156.0

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △424百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 893百万円 (182.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	31.47	—
28年3月期第1四半期	75.04	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	38,048	27,404	67.4	1,874.09
28年3月期	39,168	28,536	68.5	1,935.65

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 25,659百万円 28年3月期 26,815百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	15.00	—	25.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,700	0.1	2,200	1.4	2,900	△1.6	1,800	△9.7	129.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	13,900,065 株	28年3月期	13,900,065 株
29年3月期1Q	208,580 株	28年3月期	46,519 株
29年3月期1Q	13,798,905 株	28年3月期1Q	13,853,594 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.2「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益・雇用環境の改善傾向が続く中、個人消費は依然伸び悩んでおり、持ち直す兆しはあるものの不透明な状況が続いております。世界経済についても緩やかに回復しているものの、英国のEU離脱問題等いくつかの問題を抱えており、日本経済同様に不透明感がぬぐえない状況にあります。

このような環境下、売上高は前年同期比6.6%減の7,230百万円となりました。また、営業利益は前年同期比19.6%増の514百万円となりました。経常利益は為替差損の影響で前年同期比12.1%減の656百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年に日本シー・ビー・ケミカル株式会社の子会社化による負ののれん発生益541百万円の計上があった関係で、前年同期比58.2%減の434百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### [日本]

自動車生産台数の減少及び原油価格下落に伴う価格改定の影響によりセグメント売上高は前年同期比8.5%減の3,922百万円となりました。セグメント利益(営業利益)は減収の影響により前年同期比27.7%減の117百万円となりました。

#### [南北アメリカ]

景気低迷の影響が大きいブラジル及び各国での為替の影響によりセグメント売上高は前年同期比5.8%減の1,304百万円となりました。セグメント利益は原油価格下落による原材料価格の下落及びメキシコの黒字化により前年同期比155.6%増の121百万円となりました。

#### [中国]

鉄鋼業界向けの売上高が減少したことによりセグメント売上高は前年同期比7.0%減の1,017百万円となりました。セグメント利益は減収の影響はありましたが、原油価格下落により原材料価格が下落した為、前年同期比3.7%増の148百万円となりました。

#### [東南アジア/インド]

各国とも自動車生産台数が伸び悩む中、既存顧客でのシェアアップにより現地通貨ベースでは増収となりましたが、為替の影響によりセグメント売上高は前年同期比1.3%増に留まり986百万円となりました。セグメント利益は、インドでは依然赤字が続いておりますが他の拠点において原油価格下落により原材料価格が下落した為、前年同期比74.2%増の120百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、38,048百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,119百万円減少しました。主な要因として、「その他の流動資産」が332百万円、「リース資産(純額)」が82百万円増加したものの、「投資有価証券」が729百万円、「有価証券」が299百万円、「受取手形及び売掛金」が194百万円、「建物及び構築物(純額)」が132百万円減少したことによります。

負債は、10,644百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円増加しました。主な要因は、「賞与引当金」が278百万円、「未払金」が173百万円減少したものの、「その他の流動負債」が359百万円、「支払手形及び買掛金」が103百万円増加したことによります。

純資産は、27,404百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,132百万円減少しました。主な要因は、「為替換算調整勘定」が671百万円、「その他有価証券評価差額金」が187百万円減少し、「自己株式」が217百万円増加したことによります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年5月12日発表の業績予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額は、軽微であります。

### (4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,609	6,485
受取手形及び売掛金	5,802	5,608
有価証券	340	41
商品及び製品	1,500	1,553
原材料及び貯蔵品	1,765	1,831
繰延税金資産	189	181
その他	379	712
貸倒引当金	△22	△21
流動資産合計	16,565	16,392
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,158	4,025
機械装置及び運搬具（純額）	1,270	1,286
工具、器具及び備品（純額）	250	231
土地	5,188	5,173
リース資産（純額）	23	105
建設仮勘定	781	802
有形固定資産合計	11,671	11,626
無形固定資産		
投資その他の資産	695	646
投資有価証券	9,041	8,311
保険積立金	601	581
長期預金	239	208
繰延税金資産	43	55
その他	331	248
貸倒引当金	△21	△22
投資その他の資産合計	10,235	9,383
固定資産合計	22,602	21,655
資産合計	39,168	38,048

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,532	3,635
短期借入金	1,714	1,711
リース債務	10	20
未払金	882	709
未払消費税等	68	68
未払法人税等	241	224
賞与引当金	553	275
役員賞与引当金	47	60
その他	653	1,012
流動負債合計	7,703	7,719
固定負債		
長期借入金	787	766
リース債務	19	93
繰延税金負債	411	369
役員退職慰労引当金	134	134
退職給付に係る負債	1,346	1,332
長期預り保証金	158	158
資産除去債務	21	21
その他	48	48
固定負債合計	2,927	2,924
負債合計	10,631	10,644
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,249	4,249
資本剰余金	4,052	4,052
利益剰余金	19,573	19,484
自己株式	△50	△267
株主資本合計	27,824	27,518
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	852	665
為替換算調整勘定	△1,774	△2,445
退職給付に係る調整累計額	△87	△79
その他の包括利益累計額合計	△1,009	△1,859
非支配株主持分	1,721	1,745
純資産合計	28,536	27,404
負債純資産合計	39,168	38,048

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	7,739	7,230
売上原価	5,459	4,908
売上総利益	2,280	2,322
販売費及び一般管理費	1,849	1,807
営業利益	430	514
営業外収益		
受取利息	42	24
受取配当金	28	28
持分法による投資利益	189	192
為替差益	40	—
その他	47	12
営業外収益合計	349	258
営業外費用		
支払利息	8	8
為替差損	—	90
その他	24	17
営業外費用合計	33	117
経常利益	746	656
特別利益		
負ののれん発生益	541	—
特別利益合計	541	—
税金等調整前四半期純利益	1,287	656
法人税等	169	133
四半期純利益	1,117	522
非支配株主に帰属する四半期純利益	77	88
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,039	434



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	1,117	522
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	172	△186
為替換算調整勘定	△396	△501
退職給付に係る調整額	5	7
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	△266
その他の包括利益合計	△223	△947
四半期包括利益	893	△424
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	831	△408
非支配株主に係る四半期包括利益	62	△16

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,287	1,385	1,094	973	7,739	—	7,739
セグメント間の内部 売上高又は振替高	216	3	—	8	227	△227	—
計	4,503	1,388	1,094	981	7,967	△227	7,739
セグメント利益	163	47	142	69	422	7	430

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本

南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益(営業利益)の調整額7百万円は、未実現損益の消去が1百万円、内部損益取引の調整額が9百万円、のれんの償却額が△3百万円であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

日本シー・ビー・ケミカル株式会社を株式の取得により連結子会社としたことに伴い、当第1四半期連結会計期間において負ののれん発生益541百万円を計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、セグメント利益には含めておりません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,922	1,304	1,017	986	7,230	—	7,230
セグメント間の内部 売上高又は振替高	222	0	11	7	242	△242	—
計	4,145	1,304	1,029	993	7,472	△242	7,230
セグメント利益	117	121	148	120	508	6	514

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本

南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益（営業利益）の調整額6百万円は、未実現損益の消去が9百万円、のれんの償却額が△2百万円であります。